

都立公園・庭園で春の花を探してみよう！

～暖かな陽気に誘われて、サクラをはじめ様々な花が姿を見せます～

※庭園・植物園(☆がついているもの)は入園料が必要です。

① 井の頭恩賜公園

井の頭恩賜公園の池の周囲には約250本のサクラがあり、池の上に枝を広げています。池の水に映える満開のサクラ、そして花吹雪が水面に散り敷く様は見事です。



☎ 0422-47-6900
 JR中央線・京王井の頭線「吉祥寺」下車徒歩5分
 京王井の頭線「井の頭公園」下車徒歩1分

② 神代植物公園 ☆

園内にはさくら園を中心に600本のサクラが植えられ、古くから伝わるサクラの園芸品種など植物公園ならではの様々な種類が楽しめます。花弁の先の紅色が濃い神代曙(ジンダイアケボノ)や、ばら園側のソメイヨシノの大木並木も見事な花を咲かせます。



☎ 042-483-2300
 京王線「つつじが丘」から京王バス深大寺行き「神代植物公園前」下車
 京王線「調布」駅から小田急バス吉祥寺または三鷹行き、京王バス深大寺行き「神代植物公園前」下車

③ 小金井公園

園内には、ヤマザクラ、ソメイヨシノ、サトザクラなど50種類、約1,700本のサクラが見られ、隣接する玉川上水の名勝「小金井(サクラ)」と共に桜の名所となっています。多彩な桜が春を彩ります。



☎ 042-385-5611
 JR中央線「武蔵小金井」から西武バス「小金井公園西口」下車、関東バス「江戸東京たても園前」・「小金井公園前」・「スポーツセンター入口」下車

④ 善福寺川緑地

善福寺川の散策路沿いにあるサクラ並木は、川にせり出し見ごたえ十分。尾崎橋上流は川面にサクラが映え、見事な景観を見ることができます。



☎ 03-3313-4247
 京王井の頭線「西永福」・「浜田山」下車徒歩15分、関東バス(JR中野駅・吉祥寺駅間)「善福寺川緑地公園前」下車、コミュニティバス「すぎ丸」(阿佐ヶ谷・浜田山間)「善福寺川緑地」下車

～さくら開花情報～

都立公園等のさくら開花情報を提供します。お花見にお出かけの際は、ぜひご利用ください。

期間 平成24年3月9日(金)～4月13日(金)

電話による対応 公園緑地部計画課 03-5320-5372 (土曜・日曜・祝日を除く9時から17時まで)

ホームページ | (3月9日(金)10時から)

(公財)東京都公園協会 <http://www.tokyo-park.or.jp/>
 東京都建設局 <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/>

⑨ 向島百花園 ☆

カタクリは、早春の里山を飾る花と知られ、かつては地中の球根から片栗粉を採ったことから名前がついています。百花園では、庭園の創設期である江戸時代後期から植えられていました。3月中旬頃カタクリが咲き始めるのを先頭に、多くの種類の花が咲き始めます。



☎ 03-3611-8705
 東武鉄道伊勢崎線「東向島」下車徒歩8分
 京成電鉄押上線「京成曳舟」下車徒歩13分

⑧ 上野恩賜公園

上野の山は、江戸時代から「桜の名所」として知られてきました。寛永寺が創建された後、桜が好きな天台僧正が吉野山から移植させたということです。上野公園には、園内だけでも約800本のサクラが植えられており、公園中通りが主な見所です。



☎ 03-3828-5644
 JR・東京メトロ銀座線・日比谷線「上野」下車徒歩2分
 大江戸線「上野御徒町」下車徒歩5分
 京成線「京成上野」下車徒歩1分

⑦ 浜離宮恩賜庭園 ☆

前年11月上旬、約3,000㎡のお花畑に寒咲きの菜の花の種、「黒川」と「伏見」をまきました。3月下旬にはほぼ咲きそろいます。見頃は3月いっぱい。30万本の菜の花が織りなす黄色いじゅうたんは圧巻です。



☎ 03-3541-0200
 都営大江戸線「汐留」築地市場、ゆりかもめ「汐留」下車徒歩7分
 JR・東京メトロ銀座線・都営浅草線「新橋」下車徒歩12分

⑥ 旧芝離宮恩賜庭園 ☆

4月下旬から5月上旬にかけて、フジの花が開花します。本庭園の2本の古木に1m30～50cmくらいの綺麗な紫色の花が咲きます。気候が暖かいこの頃、アヤメ、ツツジ、サツキ、カキツバタ等の他の花も開花期となるため、本庭園の散策におすすめの季節となります。



☎ 03-3434-4029
 JR「浜松町」下車徒歩1分
 都営大江戸線・浅草線「大門」下車徒歩3分



「新居へやってきたアシカたち」

上野動物園 東園飼育展示係 齋藤 圭史

平成23年10月28日に新施設「ホッキョクグマとアザラシの海」がオープンしました。この施設では、ガラスを使用するなど様々な角度から動物を見ることができるようになっています。

この中で、アザラシと一緒に生活しているのが、カリフォルニアアシカの家族です。もともと東園で生活していましたが、新施設工事のために1年半ほど西園にあるカバ舎で間借り生活をしていました。

西園に移動したのは、平成22年4月です。ジョン(オス)、カコ(メス)、チャッピー(メス)の成獣3頭で移動したのですが、平成22年6月にはメス2頭がそれぞれ、カエ(メス)、チャップ(オス)を出産しました。さらに平成23年6月にはチャッピーが、チャロ(オス)を出産し、合計6頭の大家族になりました。慣れていない場所での出産は、アシカたちも不安だったと思います。しかし、そこはベテランママの2頭です。立派に子育てをしていました。

平成23年9月に新施設へ移動しました。チャップは国内の水族館へ移動しましたので、東園へ戻ってきたのは5頭です。戻ってきたばかりの頃は、緊張のため全頭がかたまって行動することが多かったのですが、徐々に落ち着きを取り戻すと、新たな環境への探索が始まりました。こんなときに真っ先に動き出すのは、好奇心の旺盛な子供たちです。アシカたちは時間をかけてプールの隅々まで、もちろん陸の上も一通り散策し、その場所が安全であることを確認します。

新施設では、アシカだけではなくゼニガタアザラシも一緒に生活しています。まだまだ慣れない環境での生活になりますが、今年も新たな家族が増えることを願い、われわれ飼育係はより良い環境づくりを心掛けています。



【カリフォルニアアシカ】

～動物園の“かお”～

多摩動物公園
モウコノウマ

「ハーン」(オス)
平成23年11月2日生まれ

モウコノウマは、現存する世界唯一の野生馬。赤ちゃんにぜひ会いに来てください！



撮影日 平成23年12月11日